

第 16 回定例教育委員会 会議録

開催月日 平成31年3月13日（水）

開催時間 午後 1 時 30 分から午後 2 時 37 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 市川 満
教育長職務代理者 野田 清紀
教育長職務代理者 武者 稚枝子
委員 三塚 憲二、加藤 正芳、佐藤 喜美子

出席職員 教育次長 小島 良一
教育監 奥田 正治
教育監 青柳 達也
学力向上対策監 佐野 修
次長（総務課長） 塩野 開
福利給与課長 諏訪 桂一
学校施設課長 後藤 宏
義務教育課長 嶋崎 修
高校教育課長 廣瀬 浩次
高校改革・特別支援教育課長 染谷 光一
社会教育課長 保坂 哲也
スポーツ健康課長 前島 斉
学術文化財課長 百瀬 友輝
総務課総括課長補佐 古屋 登士匡
政策企画監（総務課課長補佐） 武井 俊人
総務課課長補佐 若月 衛
総務課課長補佐 望月 勝一
総務課主査 河野 奈美

スポーツ健康課 課長補佐 小俣 宏記
義務教育課 人事管理監 小田切利幸
管理主事 二宮 智浩
高校教育課 人事管理監 初鹿野 仁

傍聴人 0 名

報道 3 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

議案第45号、議案第46号、議案第47号、議案第48号、報告事項（11）、報告事項（12）については、人事及び個人情報に関することであるため非公開としたい旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

- 議案
第45号 小中学校長の人事異動について
（非公開）
〔説明〕 義務教育課

【原案どおり決定】

- 第46号 行政処分等に対する審査請求について
（非公開）
〔説明〕 義務教育課・高校教育課

【原案どおり決定】

- 第 47 号 県立学校長の人事異動について
(非公開)
[説明] 高校教育課

【原案どおり決定】

- 第 48 号 考古博物館館長の人事について
(非公開)
[説明] 学術文化財課

【原案どおり決定】

2 報告事項

- (11) 小中学校教頭の人事異動について
(非公開)
[説明] 義務教育課

【了知】

- (12) 県立学校教頭の人事異動について
(非公開)
[説明] 高校教育課

【了知】

3 その他報告

- (32) 平成30年度「山梨県新体力テスト・健康実態調査」結果について
[説明] スポーツ健康課

三塚委員 家庭での朝食の問題、睡眠の問題、これが今後の課題の一番大事なところではないかと認識している。それについて、各学校から家庭への働きかけをすると、今までもやってきていると思うが、こういったデータが出てきたからには、違った切り口からの働きかけも必要ではないかと思うが、どう考えているか。

- 前島課長 特に朝食の摂取率については、ここ数年、低下傾向にある。授業参観などで、保護者がいる場合、その場で説明したり、指導したりということはあるが、来年度は、一步、踏み込んで、各県で朝食摂取率の高いところ、どのようなことをしているか、例えば、島根県は、朝食も味噌汁だけは飲みましよう、みたいな形で徐々に徐々にあげていくという取組をしている。もう一つ、朝食を作るときに親御さんもなかなか時間をかけて朝作るわけにもいかないの、栄養教諭等が簡単に作れる朝食などのレシピを考え、すべての小中学生に配るといったことを検討し、朝食の摂取率をあげていきたいと考えている。睡眠時間については、なかなか家庭の問題もあり、スマホを家庭の中で時間を決めるといったことを指導していきたいと考える。
- 三塚委員 ぜひ、そうした形で細かく綿密にやっていただくと、何年か先にはいい結果に結びつくと思うので、ぜひやっていただきたい。
- 武者委員 こういった衝撃的なデータを出すことによって子ども達も家族も、大変なことだと認識することが大事かと思う。あと、女子生徒で朝ご飯食べられない子っていうのは、寝る時間が遅い。親が料理を作って起こしてもぎりぎりまで寝ているということなので、家庭でご飯作ってくださいねとか言っても子どもが起きないということがある。睡眠時間が少ない理由としていろいろあると思うが、一つはスマホを遅くまでやっているとか、塾等で帰りが遅くなって、それからご飯食べてお風呂入って、学校の宿題やると遅くなってしまったりとか、いろいろ原因があると思うので、そこは洗い出しをしていただいで、もし、スマホが一つであれば、10時以降はスマホはしないようにしようという声かけを学校全体で取り組んでいたようなところが、かなり成果をあげているというようなことがあったので、そういうのを全県に広めるのも良いと思う。
- 前島課長 県内県外含めて、好事例・成功しているところのものというのは、広めていって、それぞれ学校にあった対策をしていただければ、より効果が出るかと感じている。
- 佐藤委員 投能力について、運動遊びを通じた遊びの中から体力の向上ということで、県のほうも指導していただけたということがわかったが、地域で取り組む学校元気アップ、この事業は具体的にどのようなものがあるのか。
- 前島課長 元気アップ事業というのは、本年度で一応一区切りということになるが、ゴム跳びとかいわゆる運動遊びを、例えば、総合型地域スポーツクラブの方がインストラクターとして教えてくれ、その時に、生徒に教えるだけでなく、先生にも教えるといったことをやってきた。それを引き継ぐ形で、今度は投能力が山梨県の弱点ということがわかったので、そちらの方にシフトしていくことを考えている。
- 佐藤委員 投能力、ボール投げが弱いというのはかなり前から聞いていたので、良かったと思う。
- 野田委員 3つ。体力合計得点が10年間で最低値になった学年はゼロとあるが、最低値になった学年はゼロかもしれないけど、減った学年がどのくらいあるのか。2つ目は、朝食の摂取率は低下傾向であるというが、大体どの学年の摂取率が少ないのか。3つ目、学校から家庭への働きかけについて、スマートフォンの接触頻度の低減とあるが、具体的にスマートフォンの接触頻度の低減をするには、どんな働きかけ、どんな指導をしているのか。

- 前島課長 2つ目について、年齢が高くなるにつれて食べない子が多くなるという傾向がある。
- 野田委員 中3とか。
- 前島課長 はい。小学生の方が朝食摂取率が高いということと、全国的には山梨県はある程度上の方にいるが、山梨県だけでなく、全国的な傾向でどうしても朝食の摂取率は低下している。親の世代が朝食をとらない世代、ということが一つ原因にある、また、スマホ等で朝起きられないということ、そういったことで低下傾向にある。
- 野田委員 男子が少ないってのが気になる。
- 前島課長 男子も年齢があがると、そのまま食べないという人も。
- 野田委員 女性じゃわかるけど、男子というのが。
- 前島課長 スマホの関係について、具体的にどのようなことをしたら低減させるかというのではないが、今後、各学校の状況等を聴取し、良い取り組みについては、全県に広げるといようなことで対応していきたいと考える。
- 野田委員 韓国なんかは強制的に切っちゃうなんてことがある。
- 嶋崎課長 この間、文科省の方からスマホチェックみたいな形でパンフレットが来たので、学校に配布して実態と照らし合わせながら各地教委を通じて指導を行った。それには具体的な危険な例だとか、取扱いに関する注意などがあり、かなり具体的な資料になっている。
- 前島課長 1つ目については、男子で6、女子で3が減少した学年数。
- 野田委員 10年間で最低値になった学年はゼロって書き方だと、最低値じゃないけど減っているではないか、と読みができる。これだと、表面上は最低値になってないから良いのではないかと読めるけど、逆に、減っているとこいっぱいあるのではないの、最低値はないけれど、というところの方が気になる。
- 前島課長 はい、少なくない学年が減っていた。
- 野田委員 それの方が、もしかすると危ないのではないかと。
- 加藤委員 生徒にだけ返しても解決する話ではない。結局、家庭、親にも通じる必要がある。家庭生活が、夜型なのか、朝型なのか、習慣的なものになるので、非常に難しいと思うが、こういった対応をするのか。
- 前島課長 普通の体力テストの結果、運動の実施時間とか朝食をとるかをとらないかというアンケートがあり、すべて各学校の方に、フィードバックする。各学校では、例えば、運動に関しては、自分たちはどこが苦手か、自分の学校はどこが苦手かということ調べて、次の年に体育の授業とか休み時間などで補っていく。もう一つ、朝食の摂取や睡眠時間については、データは学校でもっているの、授業参観とか学校だよりなどをとおして、各家庭にお知らせしていくと、などになるかと思う。

加藤委員

しっかり徹底しなければ、浸透しない。睡眠時間とか朝食をとるかからない
ということは、生活のリズムの中でやることなので、親の協力が必要だと思
う。

【了知】

〔教育長閉会宣言〕

以 上